



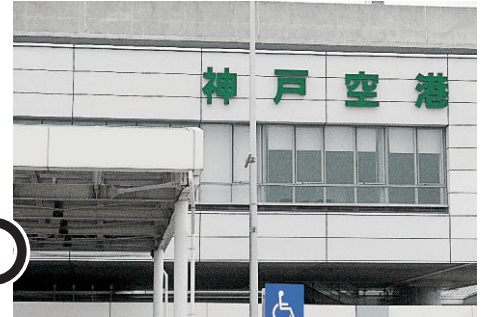
発行 兵庫区青少年記者クラブ

〒652-0032
 神戸市兵庫区荒田町2-18-20 湊川プラザ2F
 ユーステーション兵庫内
 青少年記者クラブ事務局
 ☎078・381・5584

主催 兵庫区役所
 協力 兵庫地区青少年育成協議会
 企画・運営 NPO法人こうべユースネット
 編集・製作協力 神戸新聞社
 印刷 神戸新聞総合印刷

「HyogoPepper」は、公募により集まった高校生記者10名からなる兵庫区青少年記者クラブが、兵庫区のまちを中心に取材、作成した新聞です。

神戸を撮る。



神戸空港

「BRAVE HEARTS 海猿」の撮影は、神戸空港の誘導灯を羽田空港の誘導灯に見立て、神戸港沖で行われた。

昨年放映されたドラマで最高視聴率を記録し、「倍返し」などの流行語も生んだ「半沢直樹」。その多くのシーンで神戸がロケ地の舞台になっていたことをご存じだろうか。自分たちが暮らす町がドラマや映画に登場すると作品を見るのがより楽しくなるものだ。そこで撮影のロケ地選定に関わっている神戸フィルムオフィスに撮影地としての神戸の魅力について聞いた。

「半沢」も「少年H」も

神戸フィルムオフィスのスタッフ
三宅千佳さんに聞く

関西の企業をめぐる不正融資を軸にストーリーが進んでいったテレビドラマ「半沢直樹」の前半部分では、中央区の新神戸駅や垂水区のマンションなど神戸がロケ地として登場した。こうしたロケ地の情報などを提供しているのが「神戸フィルムオフィス」（中央区）だ。神戸フィルムオフィスは、映像制作における作品の背景に最適な撮影ポイント（ロケ地）の他、俳優やスタッフの神戸滞在に必要な宿泊施設などの紹介を行っている神戸市のプロジェクトチーム。いわば映像制作者と神戸を繋げる架け橋のような役割だ。

昨年、神戸市出身の舞台美術家、妹尾河童さんの小説を原作にして公開された映画「少年H」のロケ地選定も同オフィスが手がけた。撮影は中央区北野町と旧居留地で行われている。中央区は神戸市内で最もロケ地の数が多い。旧居留地ではこれまでに映画「僕の彼女はサイボーグ」や「アウトレイジ」が撮影されるなど、旧居留地の気品と異国情緒にあふれる雰囲気が我々の心を揺さぶる。今ではこういったロケ地を巡るためにわざわざ遠方から足を運ぶ者が多くなっている。また、4月12日から公開の「クロース EXPLORER」では、ミナエタウンやノエビアスタジアムなど、多くのシーンが兵庫区内で撮影されている。神戸は人口約154万人という大都市であるとともに、海、山、温泉、田園などの自然にも恵まれている。「神戸の豊富なロケーションを求めて国内外の映像制作プロジェクトから多



萌黄の館

「少年H」のロケ地。少年Hと父・盛夫がドイツ人の自宅に洋服を届けるシーンが撮影された。



数の声がかかる」とスタッフの三宅さん。一方で神戸がロケ地候補に挙げられているが、さまざまな理由で他都市に決まる場合もあるという。

民はもちろん世界の人にも映像の楽しさと神戸の「ステキ、な部分を知ってもらいたい。

記事・写真 中村千尋

映画発祥の地から発信を

神戸は映画発祥の地である。多くの外国文化が日本に広がった窓口としての役割を果たし、世界的な貿易港である神戸港。伝統ある文化を継承し新たな映像文化を神戸から発信するとともに、神戸市

神戸税関

「ALWAYS 三丁目の夕日」では、主人公が訪ねる出版社の建物として神戸税関が登場。

